

尼崎市地域交通計画(素案)に対するパブリックコメント募集結果

寄せられたご意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

	寄せられたご意見の概要	件数	市の考え方
基本理念と施策体系など			
1	阪神バスの尼崎市内線50番(JR尼崎駅南～尼崎総合医療センター～JR立花～阪神出屋敷)の路線は、総合医療センターへの通院等を目的とする高齢者や障害者の利用者が多く、また、混雑度も高いことから、着席にてバスに乗車したいという利用者の特性に配慮し、運行本数の増便を検討してほしい。	1	[意見を参考とする] 今般の計画に掲げるバスネットワークの改編については、路線バスの運行経路や運行本数等については、バスの利用状況の調査・分析の結果等も踏まえ、鉄道駅や総合病院等の日常的な目的地とされる拠点への移動の効率化を図り、利用実態を踏まえたバスネットワークの充実をめざすこととしており、ご意見いただきました総合医療センターの利用者も含め、市民にとって必要なバス交通サービスの確保を図ってまいります。
2	総合医療センターや市役所の利用者のため、乗合タクシーの実証実験を実施してはどうか。	1	[その他] 今般の計画では、本市のほぼ全域を網羅する路線バスのより一層の利便性向上を図る取組等を進めることとしており、ご意見いただきました乗合タクシーを施策として計画に掲げておりませんが、バス交通を中心とする地域の移動需要に対応する公共交通サービスの確保を図ってまいります。
3	バス路線の改編にあたっては、できる限り既存の路線が維持されるよう、市民や利用者の意見を十分に聴取してほしい。	1	[意見を参考とする] 今般の計画に掲げるバスネットワークの改編については、路線バスの運行経路や運行本数等については、バスの利用状況の調査・分析の結果等も踏まえ、鉄道駅や総合病院等の日常的な目的地とされる拠点への移動の効率化を図り、利用実態を踏まえたバスネットワークの充実をめざすこととしております。改編の内容については、阪神バス株式会社と本市で協議を重ね、交通事業者、公募市民や学識経験者等が参画する地域公共交通会議においても議論を行い、また、影響が及ぶ地域では市民説明会を開催するなど、利用者のご意見を聴取してまいります。
4	総合医療センターに停車するバスについては、敷地内に停車するものと敷地外の歩道に停車するものの区分がしにくく、何か対策をお願いしたい。	1	[すでに盛り込み済み] 今般の計画では、わかりやすいバスの行き先表示やダイヤの導入に取り組むことを新たな施策として掲げており、ご意見いただきました総合医療センターの敷地内外に停車するバスも含め、バスの経由地・目的地やその所要時間をより分かりやすく表示し、バス交通の利用環境の改善を図ってまいります。
5	高齢化の進展を踏まえ、なるべく多くのバス停にベンチを設置してほしい。	1	[すでに盛り込み済み] 今般の計画において掲げる新たな施策として、ベンチの設置等のバス待ち環境の改善に係る費用の一部を補助し、また、ベンチの設置場所の民有地の活用支援に取り組むこととしており、ご意見いただきましたベンチの設置を推進し、バス待ち環境の改善を図ってまいります。
計画の実現に向けて			
6	将来的な高齢化の進展も見据え、新たなサービスの実証実験を繰り返すことにより、尼崎市に最適な交通手段を見出してほしい。	1	[すでに盛り込み済み] 今般の計画において掲げる新たに取り組む施策のうち、事業規模や市民生活への影響が大きいものについては、場所や期間を限定した社会実験を行い、効果や影響等の評価を行った後に本格的な施策の導入を行い、また、将来的な移動手段に関する技術の進展等の社会情勢の変化を踏まえて計画を継続して見直し、誰もが移動しやすい交通環境の実現をめざしてまいります。

尼崎市地域交通計画（素案）に対する市民意見

No .	1 / 2
意見提出日	平成 2 9 年 2 月 1 0 日
意見提出の方法	電子メール
意見	
<p>自宅は JR 尼崎駅北口より徒歩圏内です。</p> <p>県との連携も必要とされるものかも知れませんが、<u>JR 尼崎駅南口より県尼崎医療センター経由市役所本庁行きのバス路線</u>についてです。私は現在 40 代ですが、病気の関係で自転車に乗れず、電車及びバスでの移動が交通手段となっております。その中で、市役所本庁に出向かないとしない用事がある時に南口よりバスを利用しております。医療センターへ通院のためバスを利用する方と同時に高齢者の方達の利用が多いバス路線であるとの印象です。朝 9 時頃でも時間をずらして 11 時頃にバスを利用しても、南口では乗る方の列が出来るほど利用者があります。この路線は、駅前ロータリーを出発して、途中曲がる箇所が多く、病気の関係で身体障害がある私はどうしても着席させて頂く必要があります（身体障害者手帳を取得出来ない病気です）。医療センターに通院されている方も、ご病気で通院なさっているわけですから、障害者ではなくても着席したい方達も多いと思います。その上に高齢者の方が多い。</p> <p>しかしながら市役所本庁行きは 1 時間に 2 本です。上記に記載した通り、<u>利用者の特性（着席したい率が高い）</u>を考えた運行をご検討して頂きたいと思います。</p> <p><u>仮にバスの本数を増やせないならば、例えばですが、数人で乗り合いタクシーのような実証実験を行ってみるのはどうでしょうか？</u></p> <p>市役所本庁での用事が済み、バスで JR 南口へ戻ろうとしたところ、お天気が悪かったこともあり、既にバス停で数人の高齢者の方達が待っており、着席出来ない可能性があったため、市役所からタクシーで南口まで戻った事もありました。この時のタクシー代は 1400 円でした。複数人で乗り合いにすれば、タクシー利用でも個人の負担軽減になります。また JR 立花駅まで歩く手段もありますが、歩道がない狭い路地を歩く必要がある。しかし道路を広げて歩道を設けるような工事は不可能です。</p> <p><u>こうした危険性を回避するために、市役所から JR 立花駅まで乗り合いタクシー実証実験なども検討なさってはどうか？</u></p> <p><u>一例として具体的な事情を下に要望をお出ししましたが、将来的には自転車利用も難しくなっていく年齢層がもっと増えますので、実験実証を繰り返し、尼崎市に最適な交通手段を探って行っていただければと思います。</u></p> <p>長文になり失礼しました。</p>	

No .	2 / 2		
意見提出日	平成 2 9 年 2 月 1 5 日	意見提出の方法	ファックス
意見			
<p>平成 2 8 年 3 月、市営バスが廃止になり、阪神バスに移譲されました。市営バスが阪神バスへ民営化されましたが、民営化が発表されたときは、これからの路線やダイヤはどうなるのだろうか、市営バスの運転手はとても親切な方が多かったのですが、民営化されても気配りのできる運転手がバスを運行していただけるのか、といった不安を感じていました。</p> <p>市営バスが民営化されて 1 年が経とうとしています。しばらくは路線やダイヤなどは継続されると聞いておりましたので、安心しております。市の特別乗車証も IC カードになり、今まで乗車できなかった市外への路線バスにも乗車できるようになり、とても便利になりました。不安であった運転手の気配りについては、まれに市営バスの方が良かったと感じることもありますが、ひとまずはがんばっておられると感じています。</p> <p>さて、市のまとめた地域交通計画（素案）によると、市民の移動目的などを把握し、目的地へより効率良く移動できる持続可能性の高いバスネットワークへの改編を進めます、との記載がありますが、具体的にどここの路線がどうなるのかはまだわかりません。バス路線が廃止されたりすると、たちまち生活が不便になってしまいます。<u>できるだけ路線を残してもらるように、市と阪神バスでがんばってほしいと思いますので、路線の改編には、市民や利用者の声などをよく聞いて検討していただくようお願いします。</u></p> <p>また、私は、よく尼崎総合医療センターを利用しておりますが、<u>医療センター内に入るバスと入らないバスとの区別がしにくいと感じます。何か対策をお願いします。</u></p> <p>最後に、<u>今後はますます高齢者が増えてまいります。寒い冬、暑い夏、また買い物の帰りなど、停留所で立ったままバスを待つのは身体にこたえます。地域交通計画（素案）に記載しておりますベンチの設置促進は、なるべく多くのバス停で実現できるよう取り組んでください。</u></p>			